

**製品名: BDNF (7L10) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe07524**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:10000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:500,IF-P 1:200-1:500
分子量	28kDa

**抗原情報**

遺伝子名	BDNF
別名	BDNF;MGC34632;Abrineurin; ANON2; Brain Derived Neurotrophic Factor; Neurotrophin;BULN2;
遺伝子 ID	627.0
SwissProt ID	P23560
免疫原	ヒト BDNF の合成ペプチド

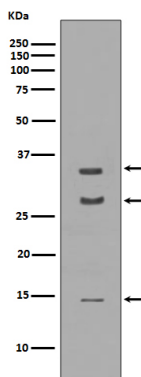
## 背景

神経栄養因子は、発生過程におけるニューロンの自然発生的な細胞死を制御する働きをします。原型となる神経栄養因子は神経成長因子 (NGF) で、1950年代に交感神経節の生存と神経突起の伸展を促進する可溶性ペプチドとして発見されました。構造的に相同性のある神経栄養因子がさらに3つ同定されています。これらには、脳由来神経栄養因子 (BDNF)、神経栄養因子3 (NT-3)、神経栄養因子4 (NT-4) (NT-5とも呼ばれます) が含まれます。NTRK2 (PubMed:11152678) の下流のシグナル伝達カスケードを活性化する重要なシグナル伝達分子です。発生過程において、末梢神経系および中枢神経系の特定のニューロン集団の生存と分化を促進します。軸索の成長、経路探索、樹状突起の成長と形態の調節に関与します。成体シナプスにおけるシナプス伝達と可塑性の主要な調節因子。BDNFの多様性は、長期増強 (LTP)、長期抑制 (LTD)、特定の短期シナプス可塑性、そして内因性ニューロン興奮性の恒常性制御など、様々な適応的ニューロン応答への寄与によって強調されている。

## 研究分野

神経栄養因子; 神経栄養因子; アルツハイマー病; 糖尿病関連; 血栓症; 糖尿病; 肥満

## 画像データ



BDNF 抗体を使用したヒト小脳溶解物抽出物のウエスタンブロット分析。